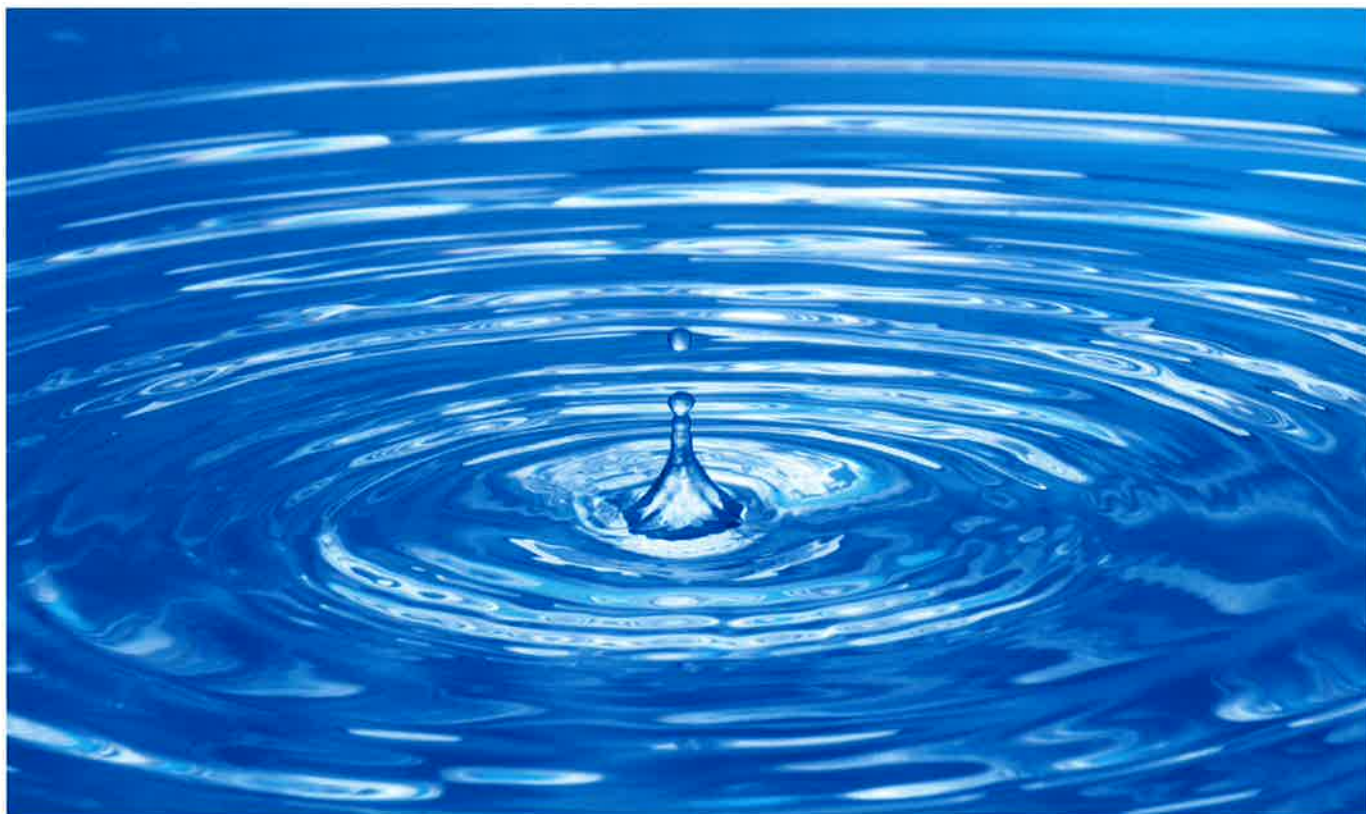


クリカバリー・ミニカバリー®



イオン交換樹脂の寿命を延ばす洗浄剤

用途

軟化装置に充填されている陽イオン交換樹脂は、長時間の使用によって原水中の鉄分が樹脂表面にコーティングし、イオン交換能力の低下や、亀裂破損を起こします。クリカバリー・ミニカバリーは、イオン交換樹脂再生時に、再生剤と同時に少量添加することにより、樹脂表面の鉄分を除去し、イオン交換能力を保持させることができます。そのほか、鉄分のコーティングが激しい樹脂では、塩酸による塔外酸洗浄にかわって、クリカバリー・ミニカバリーによる塔内洗浄を行うことで、洗浄作業の省力化、洗浄時間の短縮などがはかれます。

特長

- 1 洗浄効果が高く、使用方法が簡単です。
- 2 洗浄によりイオン交換樹脂の寿命を延ばします。もちろん性能低下することはありません。
- 3 軟鋼、鑄鋼に対する腐食性もほとんどありません。
- 4 中性の洗浄剤ですので、排水の中和は不要です。
- 5 洗浄排液は、鉄分のため赤紫色になりますので、洗浄効果を肉眼で確認できます。

使用方法

イオン交換樹脂の再生操作を行う際、再生剤(食塩)を溶解後、クリカバリー・ミニカバリーを所定量添加し、通常の再生と同様の操作をします。これを「一般洗浄」といいます。また、鉄分のコーティングが激しい場合には「一般洗浄」の場合よりもクリカバリー・ミニカバリーの添加量を多くして洗浄を行います。これを「蘇生洗浄」といいます。

使用量

- ①一般洗浄の場合(再生剤と併用)陽イオン交換樹脂1Lに対して20gの割合で再生液中に添加します。
- ②蘇生洗浄の場合(再生剤と併用)陽イオン交換樹脂1Lに対して100gの割合で再生液中に添加しますが、汚れの程度により添加割合を増減させます。

洗浄頻度

①一般洗浄の場合

クリカバリー・ミニカバリーの使用開始初期には、再生時ごとに添加しますが、適当な時期以後は、樹脂の汚れ程度に合わせて、添加回数を加減します。通常、1~2回/月程度添加します。

②蘇生洗浄の場合

今まで、クリカバリー・ミニカバリーを使用していなかった軟化装置や、鉄分のコーティングが特に激しいイオン交換樹脂を対象とした洗浄法で、通常の場合、1~2回/年程度行います。なお、蘇生洗浄後は一般洗浄を続けてください。

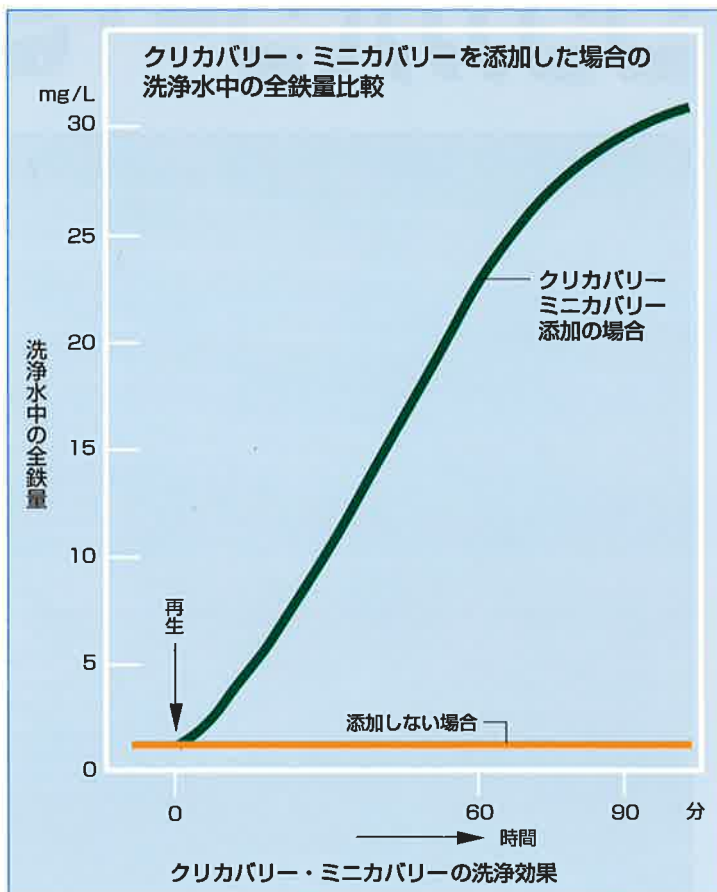
洗浄効果

軟化水装置の覗き窓が鉄錆で汚れている時は、塔内の陽イオン交換樹脂の表面も鉄分により著しくコーティング現象が起きていると判断できます。

クリカバリー・ミニカバリーによる洗浄後は、樹脂表面にコーティングした鉄分が除外され、洗浄水が赤紫色となって排出されます。このため、樹脂表面は清浄となり、覗き窓もきれいになります。

以後、再生剤(食塩)も無駄なく効果を上げ、きれいな軟化が得られます。

クリカバリー・ミニカバリーの使用効果 [例]



| クリカバリー・ミニカバリーの添加の有無 | 添加前 | 添加後 |
|-----------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 軟水収量 | 612 m ³ /サイクル | 708 m ³ /サイクル |
| 洗浄水の全鉄量 | 0.1 mgFe/L | 1.0~32 mgFe/L |
| 樹脂のFe ₂ O ₃ | 1.1% | 0.6% |

[注] 原水水質: 全硬度 60 mgCaCO₃/L 全鉄 0.2 mgFe/L
樹脂量: 600L
再生液: 25% NaCl 溶液 350L
クリカバリー・ミニカバリー添加量: 20 g/L-R

包装・荷姿

クリカバリー(102): 20 kg ポリ缶 ミニカバリー: 5 kg ポリ缶

⚠ 取り扱い・保管上の注意

- ご使用前に必ず「製品安全シート」(MSDS)をお読みください。
- 本品は、工業用の水処理薬品です。取り扱い時には保護手袋、保護メガネ、保護マスクを着用し、直接手などに触れないようにしてください。
- 誤って、皮膚に触れたり、目や口に入った場合は清水で十分洗い流してください。水洗後なお痛みがある場合は、医師の診断を受けてください。
- 作業着やウエスなど本品の付着したものは、流水でよく洗い落としてください。
- 空容器は飲料用などに使用しないでください。
- 使用時以外は室内に密閉保管してください。

栗田工業株式会社

クリタホームページアドレス: <http://www.kurita.co.jp>

■ 本社・支社

本社: 〒164-0001 東京都中野区中野4-10-1 ☎ 03(6743)5000
大阪支社: 〒541-0041 大阪市中央区北浜2-2-22 ☎ 06(6228)4800

■ 支店

東北支店: 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-12-30 ☎ 022(225)6331
名古屋支店: 〒460-0003 名古屋市中区錦1-5-11 ☎ 052(203)2851
広島支店: 〒730-0013 広島市中区八丁堀3-33 ☎ 082(221)4471
九州支店: 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-1-1 ☎ 092(472)0911

本資料記載事項は、改良、改善のため予告なく変更することがあります。
■本資料に記載されている商品名は、弊社の商標または登録商標です。

● お問い合わせは……